

令和 6 年度第 3 回三木市創生計画策定検証委員会 議事録（概要）

日 時：令和 7 年 1 月 2 1 日（火）

午後 2 時～午後 4 時

場 所：三木市役所 4 階特別会議室

参加者：委員・オブザーバー 計 1 5 名 及び事務局※詳細は別紙

説明事項

- ・第 3 期三木市創生計画（事務局素案）
- ・第 2 期三木市創生計画第 6 版（案）

概要

・第 3 期三木市創生計画の素案、第 2 期創生計画第 6 版(案)を提示し、委員に意見を求めました。

・創生計画をより尖った計画とするため、①KPI の削減・統合の案について、②新規事業案（三木市ならではの施策同士を掛け算し、新たな施策を創出する等）について、予め検討いただき、これらを中心に意見を伺いました。

今後について

・今回の意見を反映し、委員長と協議のうえ、パブリックコメントを実施します。

・第 2 期三木市創生計画第 6 版については委員の皆様のご指摘がなかったため、今回の会議を持って更新させていただきます。

主な意見

分類	内容
KPI について	・委員全体的な意見として、簡素化を推奨する。 ・K P I の統廃合について職員ではなく委員が決定するのはなぜか。各事業について担当課が判断すべき。 ・山田錦の作付面積、出荷額、中小企業の相談件数、商店街の店舗数、LED の普及率は不要なのではないか。 ・ジュニア育成のゴルフ育成累計は達成済のため削除しても良いのでは。 ・中小企業の事業所数を増やすことがプラスの目標値であるのか疑問があるため検討して欲しい。 ・バスの一便あたりの利用者数の目標値は適切か。

分類	内容
KPI について	・みっきい生涯学習講師団への登録が高齢者大学の学生の負担になっていることも聞く。高齢者大学の在籍者数にした方が良いのでは。 ・市民が関与できない内容はK P I を消してはどうか。 ・縁結び事業について、生まれた子どもの数を KPI として残すのは、時代にそぐわないのではないかな。 ・温室効果ガスの削減 LED 化は、目指すところが同じのため、調整するとどちらかを削減できる。 ・SNS のフォロワー数について。エンゲージメント数、リポスト数のような具体的な数を目標にするのがよい。KPI に乗せるかどうかも含め検討が必要。 ・緑が丘、青山の人口の目標値の増加率が非常に小さい。目標値としてどうなのか。
新規事業案	・起業支援×移住支援。どちらか一方の支援施策はよく見かけるが、二つを掛け合わせた移住者が安心して企業できる施策があればいいと思う。 ・地域ブランドみたいな形で、珍しいものを発信するのがいい。 ・市の若手が考えて、この委員会で何をするか決定するような形も面白いのではないかな。 ・唯一性も必要だが、早く新しい事業を実施するかが大切。いかに利便性が高く、選ばれる街にできるかな。 ・観光振興×農業振興ができないかな ・オープンファクトリーは効果があり、採用や大手企業との商談につながる。関係人口の増加も見込める。 ・ゴルフ場×（ネスタリゾート神戸、温泉、金物、山田錦（お酒）、三木市の食（鍛冶屋鍋）、出会い）等沢山の事業を掛け合わせることができる。インバウンド、近隣の地域などどこをターゲットとするのか。拡がりをもてるような。複合的な事業の展開をするのが良い。 ・観光とゴルフまたがって出来る仕組みを考えるべき。市と市民とのつながりも変わってくるのでは。

その他提言	
分類	内容
創生計画について	・アジャイル型政策形成にのっとり、この一年どういう仕事をして、どんな課題を得られたのか。きちんと見やすくして、発信する必要がある ・OODA ループというのがある。PDCA とくらべると、回転速度が段違い。行き当たりばったりでは無く、変化していく状況の中で、方向性は見失わないようにしている。
金物	・「金物のまち」という言い方があるが、日本語でも幅が広い。PR するのに適切か検討した方が良い。 ・インバウンド向けに発信するのであれば、外国人に人気の高い刃物などへの絞り込みも必要。 ・万博がある。金物驚を出すと聞いている。職人向けの金物事業者マップサイト、素人向けのサイト等、ニーズに合わせた案内サイトをしっかりと立ち上げることが大切だと思う。もちろん外国人対応したものである方が良い。 ・新しい製品開発の場を作ってほしい プロモーション、販路まで ・三木市がどのように関わるか。うまくリンクしていない ・三木市は製造事業者が集まり市場性がありバランスが取れるので景気判断が見えやすいため、三木市に協力していきたいという金融機関は多い。
観光	・観光×産業と考えたときに、ネックはお金を落とすところがないこと、交通の便が悪いこと ・観光スポットをパッケージ化して、どのバスでどこまでどうやって行けるのか分かるようなものを創ることが必要。 ・三木のシンボルのような。行きやすい三木らしいいきたくなる場所を作ってほしい。

分類	内容
空き家・住宅	・三木市は賃貸の賃料高く、物件が少ない。 ・空き家をいかに流動させるかを検討することで、住みやすいまちになると思う。
子育て	・子育てをしたくなるような町という言葉をよく見かけるが、女性が生むことを前提に事業設計をしていないか、今一度見直す必要がある。 ・部活動の地域以降 令和 10 年度から完全に地域移項するとある。色々なスポーツが体験できるような仕組み生涯にわたり文化スポーツに触れることが出来るというような打ち出し方もよい。
外国人について	・高齢者と外国人の交流促進。観光ではなく、外国人住民の方が普段から過ごしやすいような環境を創らないといけない。 ・ベトナム人を中心に国際交流を実施していくときに三木は住むにも安全で、そんなにガサガサしていないというような、評判が外国人に広がっていくような工夫が必要。 ・定住までとはいかずとも、外国人の循環が起こるような工夫をしても良いのではないか ・三木の旧市街地の活性化にも目を向けていくべき ・中心は旧市街地 本庁のあるところ
団地再生事業	・団地再生事業について、持ち家という概念から利用する家という概念へのシフトチェンジが起きている。住宅再生による新しい提案を楽しみにしている。

分類	内容
空き家・住宅	・三木市は賃貸の賃料高く、物件が少ない。 ・空き家をいかに流動させるかを検討することで、住みやすいまちになると思う。
子育て	・子育てをしたくなるような町という言葉をよく見かけるが、女性が生むことを前提に事業設計をしていないか、今一度見直す必要がある。 ・部活動の地域以降 令和 10 年度から完全に地域移項するとある。色々なスポーツが体験できるような仕組み生涯にわたり文化スポーツに触れることが出来るというような打ち出し方もよい。
外国人について	・高齢者と外国人の交流促進。観光ではなく、外国人住民の方が普段から過ごしやすいような環境を創らないといけない。 ・ベトナム人を中心に国際交流を実施していくときに三木は住むにも安全で、そんなにガサガサしていないというような、評判が外国人に広がっていくような工夫が必要。 ・定住までとはいかずとも、外国人の循環が起こるような工夫をしても良いのではないか ・三木の旧市街地の活性化にも目を向けていくべき ・中心は旧市街地 本庁のあるところ
団地再生事業	・団地再生事業について、持ち家という概念から利用する家という概念へのシフトチェンジが起きている。住宅再生による新しい提案を楽しみにしている。